神奈川県議会　令和３年本会議　第３回定例会　環境農政常任委員会

令和３年10月11日

意見発表

渡辺(ひ)委員

本委員会に付託された議案及び所管事項について、公明党として意見、要望を申し述べます。

はじめに、豚熱対策についてです。

今回の相模原市内での豚熱の発生事件を踏まえた最終的な総括にはいまだ至っていないが、当面は浮き彫りとなった課題に対し、しっかり対策を講じるべきである。その後は、早急に総括し、それらを踏まえ、防疫計画の見直しを行うべきである。あわせて継続的な対策のための予算措置を講じるべきである。その上で、今後も豚熱が発生するリスクはあり、その対応は部局横断的な取組が必要であることを踏まえ、全庁的な危機管理体制をさらに強化し整備すべきである。

また、関係団体と円滑な協力関係を築くとともに、協力体制の強化も図るべきである。そして、それらを踏まえた実働的な訓練も実施すべきであると要望します。

次に、食品ロス削減に向けた取組についてです。

県として策定する神奈川県食品ロス削減推進計画において位置づける食品ロスの削減目標に向け、県内市町村や企業、団体等と連携しながら、実効性のある具体的な食品ロスの削減対策にしっかりと取り組むべきである。例えば、家庭系の食品ロス削減のためのフードバンクへの食品の寄附については、県民個人が気軽に持っていける身近な場所を多く展開すべきである。また、事業系の取組として、事業所の災害用備蓄食料のフードバンク団体への提供も促進すべきであると要望します。

最後に、ごみ処理広域化・集約化についてです。

市町村が行うごみ処理は、我々の生活に最も密着した行政事務の一つであり、今後も安定かつ継続して行われなければなりません。そのため、ごみ処理の広域化、施設の集約化に当たっては、将来にわたって安定的かつ効率的な廃棄物処理の体制を構築すべきである。その上で、地球温暖化対策、ＣＯ２削減に資する取組も必要であり、ごみ処理事業はそのために行政として取り組める重要な事業であり、その取組も併せて促進できるよう県内各ブロックのごみ処理広域化計画を見直し、施設整備については、県は市町村と連携し、個別の事業や課題をよく把握した上で広域化・集約化を着実に進めるべきであると要望します。

以上、意見、要望を述べ、本委員会に付託された議案に賛成します。